

大牟田市企業局上下水道事業運営審議会(第3回)会議摘録	
件名	令和7年度第3回大牟田市企業局上下水道事業運営審議会
日時	令和7年11月10日(月) 9:30～
場所	大牟田市企業局庁舎3階講習室
委員	出席5名
議事	<p>○次第2 下水道事業の経営状況について</p> <p>令和6年度公共下水道事業概況(資料1)</p> <p>令和6年度公共下水道事業決算状況(資料2)</p> <p>令和6年度経営目標達成状況(資料3)</p> <p>令和6年度公共下水道事業経営分析(資料4)</p> <p>○次第3 水道事業の経営状況について</p> <p>令和6年度水道事業概況(資料5)</p> <p>令和6年度水道事業決算状況(資料6)</p> <p>令和6年度進捗管理シート(資料7)</p> <p>令和6年度水道事業経営分析(資料8)</p> <p>○次第4 大牟田市水道事業の経営戦略の策定について</p> <p>市民意識調査分析結果(資料9)</p> <p>大牟田市水道事業経営戦略(素案)(資料10)</p>
進行	内容
委員長	上下水道事業経営状況の報告と水道事業経営戦略策定についての審議を進める。
企業局	次第2[資料1～4] 下水道事業の経営状況について説明
委員長	ご意見、ご指摘があれば。
委員	全国平均と比較して水洗化率が低い原因はなにか。
企業局	水洗化されていない家屋について、水洗化しない理由の聞き取り調査を実施したところ、借地・借家であることや経済的な理由、高齢化の進行などの意見が寄せられた。水洗化促進キャンペーンも実施しており、約1%の向上は見られるものの依然として低い状況である。また、他都市と比較してし尿くみ取り手数料の水準が低いことも理由のひとつであると考えている。
委員長	現在は整備途中ということもあり黒字だが、今後は人口減少に伴う下水道使用料の減少が大きな課題になると思われる。
企業局	次第3[資料5～8] 水道事業の経営状況について説明

委員長	ご意見、ご指摘があれば。
委員	〔資料 7〕 P.18 成果目標について、「水道水を安心して使っている市民」の目標値が 56%と記載されているが、目標値が低いのではないかと。設定根拠をご教示いただきたい。
企業局	該当箇所については、新水道ビジョン策定当時に直接飲用に対する目標として設定したものである。浄水器の普及や水道水は生活用水としても使われていることから、令和 2 年度に、直接飲用率から安心して水を使っている人の割合に目標を変更している。
委員	〔資料 8〕 P.3 有収率について、漏水の影響で有収率が悪化しているとの説明があったが、実際に漏水が大きな影響を与えている状況なのか。
企業局	漏水調査を行っていたが、漏水箇所の特定制定ができない状態が続いていた。今年の 3 月頃により漏水箇所が判明し修理を行ったため、令和 7 年度以降は有収率が改善するものとする。今後は、衛星や AI を使った漏水調査等の手法を検討し、有収率の向上に努める。
委員	〔資料 7〕 目標達成状況の自己評価が厳しすぎるのではないかと。概ね達成していると言えるものもあり、△の評価も加えていいのでは。
企業局	今後、検討させていただく。
副委員長	〔資料 5〕 ありあけ浄水場の次期維持管理業務委託とあるが、入札等の状況はどうか。何者程度から応募があるのか。
企業局	前年度にサウンディング調査を行い、現在は要求水準書等を作成している段階である。市としては、専門性が高いものの、競争性の観点から広く公募したい考えである。
委員	〔資料 7〕 キャッシュレス決済導入については、どのような決済方法を導入する予定なのか。
企業局	令和 7 年度からコンビニ決済の仕組みを利用した、バーコードを読み込むスマートフォン決済を導入している。全ての決済アプリに対応しているわけではないため、対応できるものを拡充するなど、利便性向上のための検討が必要とする。
委員	コンビニに行く必要があるのか、また、バーコードはどこについているのか。

企業局	コンビニに行く必要はない。個人のスマートフォンでバーコードを読み取ることで決済できる。バーコードは納付書に付いており、口座振替を利用している方はバーコードを見る機会はない。
委員長	現状はあまり浸透していないのか。
企業局	企業局としては、事務処理の手間や経費を考えると、スマートフォン決済では納付書の送付が必要となるため、口座振替の方が効率的である。利用者の利便性と事務処理の効率性の両立が難しいというのが現状である。
委員長	給水収益は減少傾向にあり、令和 6 年度決算状況では、厳しい状況に直面していることが明らかとなった。次期経営戦略において、この課題への対応を検討する必要がある。現時点で寄せられた意見については、採用可能なものを取り入れながら検討をしていただきたい。
日水コン	次第 4 [資料 9] 市民意識調査分析結果の修正箇所について説明
委員長	ご意見、ご指摘があれば。
委員	年代別のアンケート調査結果については、納得であり、年代による捉え方の違いがわかったので、効果的な分析となっていると思う。維持管理だけではなく、計画的な更新投資の必要性についても理解していただけるような説明が必要だと感じた。
委員長	アンケート結果は有効な参考資料となると思うので、今後の事業運営に反映してもらいたい。
副委員長	今回の市民意識調査の実施時期は、埼玉県八潮市での事故発生後にあたるのか。大きな事故が報道された前後では、市民の意識も変わってくると思われる。
日水コン	埼玉県八潮市の事故発生後に実施したアンケートである。
委員長	大きな事故後ということで、（老朽管対策等の）重要性が認識されたうえでの結果になっている。
日水コン	[資料 10] 大牟田市水道事業の経営戦略について修正箇所を説明
委員長	ご意見、ご指摘があれば。
委員	P.28 の水道事業の会計についての説明が、投資や財政計画の項目から経営状況の項

	<p>目に移動したことでわかりやすくなった。</p> <p>P.33 経営の健全性の指標の評価で、今回は「減少傾向となっており」と記載があったが、なぜ削除されたのか理由を教えてください。</p>
企業局	<p>経常収支比率は費用と収益の関係を示す指標であり、「減少」と表現すると、収入の減少が要因のように見えてしまうが、物価高騰等による費用の増加も大きく影響しているため、表現を改めた。</p>
委員	<p>P.41 の図について、国土交通省の資料であるため拡大は難しいかもしれないが、大牟田市の部分だけ色を付けるなど、視覚的に分かりやすくなる工夫をしてほしい。</p>
日水コン	<p>修整する。</p>
委員	<p>P.20 の上段と下段のグラフについて、前回から表現を変更したように見受けられるが、「ただちに経営に影響を及ぼすものではありません」という表記は残しておいたほうがよいのか。</p>
企業局	<p>前回の審議会で、図 2-9 職員 1 人当たり給水収益の推移についての分析として必要な職員数は確保するといった内容を追記したほうがよいとご指摘いただいたため、水道サービスの提供に必要な職員を確保していること、そのことで経営指標が悪化しているものではないため、「ただちに経営に影響を及ぼすものではありません」という表現を加えた。</p>
委員	<p>P.50 の老朽管更新計画について、更新目標値を達成した場合、水道カルテ上の基幹管路の耐震適合率は何%となるのか。水道カルテが 100%となるように設定された更新目標値なのか。</p>
企業局	<p>更新計画については、年間 3km の更新を目標としているが、水道カルテとの具体的な関係については精査できていない。災害時に重要拠点となる施設や病院周辺を優先的に更新していく方針としている。</p>
委員	<p>P.51 料金の見直しについて、「本市の水道料金は、平成 20 年 9 月の見直し以来…」と記載されているため、P.52 図 5-2 のグラフについても、平成 20 年開始とする形に統一したほうがよいのではないかと。</p>
日水コン	<p>検討させていただく。可能であれば修正を行う。</p>
副委員長	<p>平成 20 年に料金を上げる必要があった理由を示すためには、少なくともその約 10 年前から記載する必要があるのではないかと。</p>

企業局	統計資料を確認のうえ、検討させていただく。
副委員長	P.82 の下から 2 行目の「人口衛星」は「人工衛星」に修正を。
日水コン	そのように修正する。
委員	P.72 に「赤字が見込まれる令和 9 年度の 2 年後の令和 11 年度に料金見直しを行う」との記述について、その間の令和 10 年度についてはどのような見通しになっているのか。
企業局	現在の収支見込みでは、令和 9 年度に赤字となるが、短期的な赤字に対しては、水道事業の会計は、内部留保資金（資金残高）を持っているため、資金残高が減ることになるものの、事業運営が直ちに行き詰まるわけではない。
委員長	令和 9 年度、10 年度で赤字となるが、11 年度で料金改定をすれば以降黒字となる試算という意味なのか。
企業局	<p>経営戦略の目的は、現状の課題を把握し、将来の見通しを示すことである。経営戦略の財政計画では 9 年度で赤字が発生する見込みとなっている。計画期間中の収支均衡を維持するためには、何らかの対応策が必要であり、その一つとして、料金改定の試算を示している。赤字になったのち一定の準備期間も必要であることから、仮に令和 11 年度に料金見直しを実施した場合、改定率はおおむね 22%程度になるとのシミュレーション結果を示したものである。</p> <p>料金改定については、あくまでも次のステップとして認識している。</p> <p>持続的な水道サービス供給のために、料金体系の見直しを含む水道料金改定は今後必要であると考えており、引き続き説明を行いながら進めていきたい。</p>
委員長	これまでの計 5 回の審議会で、概ね、経営戦略の案に対してこの内容でよいとの総意が得られており、本日の審議会の内容を受けた修正等も必要となると思うが、今後の進め方はどう進めるのか。
企業局	<p>本日の審議会の内容で修正を行うべきところを委員へ確認させていただき、委員長と事務局の間で経営戦略の素案として取りまとめた後、12 月に入り、パブリックコメントを実施し、より広く市民意見を聴取することとしている。</p> <p>パブリックコメント結果を受けた修正等については、委員長と調整をさせていただきたい。</p> <p>次の審議会では、その結果をご説明するとともに、水道事業経営戦略の策定の最終案としてご確認いただき、答申をいただきたい。</p>
委員長	今の説明のとおり、本日の審議を踏まえた修正等、パブリックコメント結果をうけ

審議会	<p>た修正等について、委員長一任ということでよろしいか。</p> <p>(了承される。)</p> <p>閉会</p>
-----	---